

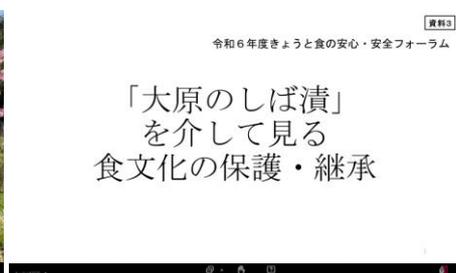
# 令和6年度きょうと食の安心・安全フォーラムの開催結果について

令和7年2月  
農政課

2月4日（火）に、「きょうと食の安心・安全フォーラム～育てよう！京の食の未来～」を開催し、京都府及び食品関連事業者が食の安心・安全等に向けた取組を報告するとともに、参加者と意見交換を行いました。

## 記

- 1 日 時 令和7年2月4日（火）13:30～15:30
- 2 会 場 京都府立京都学・歴彩館 小ホール（※Zoom ウェビナーによる同時配信）
- 3 主 催 きょうと食の安心・安全フォーラム実行委員会（一般社団法人京都府食品産業協会、京都府生活協同組合連合会、特定非営利活動法人コンシューマーズ京都、一般社団法人京都鶏卵・鶏肉安全推進協議会、京都府）
- 4 参加者 消費者、事業者等 121名
- 5 参加事業者
  - ・ビオ・ラビッツ株式会社 代表取締役 梅本 修 氏（農業者／京丹後市）
  - ・株式会社辻しば漬本舗 代表取締役 辻 和豊 氏（漬物製造者／京都市）
  - ・有限会社グリーンファームソーゴ 取締役社長 牧野 幸弘（鶏卵生産者／福知山市）
- 6 概 要
  - (1) アンケート集計結果（回答率 86.3%）
    - ・本フォーラムに参加して「大変満足」・「満足」と回答した参加者の割合：78.4%
    - ・京都府や事業者の取組について「とても理解が進んだ」・「理解が進んだ」参加者の割合：93.2%
  - (2) 参加者の主な感想
    - ・食品関連事業者の苦勞など聞くと、農林水産物の価格が多少高くても購入しようと思いました。
    - ・食品の生産・製造に関する思いを聞いたのがとても良かったです。安心・安全の取組を意識するキッカケになりました。
    - ・食品関連事業者の今まで知らなかった苦勞や工夫、取組の数々を直接聞くことができ、勉強になりました。近所の友人達にも話そうと思いました。
    - ・生産者の努力や苦勞がわかり、知識の醸成につながりました。今後も食の安心・安全について学んでいきたいと思います。



会場及び配信の様子